

平成29年 5月13日 土 午後1時開演

新進と花形による

舞踊・邦楽鑑賞会

地歌舞 鐘ヶ岬

山村若瑞

筑前琵琶

伽羅の兜

川村旭芳

箏曲

鳥のよう
に沢井忠夫作曲

山路みほ

長唄舞踊

連獅子

親獅子
尾上菊見匠
仔獅子
尾上菊見希

地歌

末の契

歌・三絃
尺八
竹山順子
國見政之輔

長唄舞踊

君が代松竹梅

藤間冠花



尾上菊見匠



山路みほ



川村旭芳



山村若瑞



藤間冠花



國見政之輔



竹山順子



尾上菊見希

地方 〓 杵屋東成・杵屋勝祿連中
菊原光治社中
囃子 〓 望月太明藏社中

予約開始

4月11日(火)
午前10時～

〈電話〉国立劇場チケットセンター [午前10時～午後6時]
0570(07)9900 03(3230)3000 [一部IP電話等]
〈インターネット〉<http://ticket.ntj.jac.go.jp/> [パソコン]
<http://ticket.ntj.jac.go.jp/m> [スマートフォン]

入場料金

4,300円 学生 3,000円
*障害者の方は2割引です。

窓口販売開始

4月12日(水) チケット売場 [午前10時～午後6時]
*窓口販売用印刷でのお取り置きはございません。
*車椅子用スペースがございます。ご予約時にお問い合わせください。

 国立文楽劇場 (大阪)

〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号
tel. 06(6212)2531(代表)
<http://www.ntj.jac.go.jp/>

新進と花形による 舞踊・邦楽鑑賞会

～今をかがやく舞踊家・演奏家たちの競演～

今回は地歌舞で幕を開け、続いて筑前琵琶、次に箏曲では沢井忠夫の名曲をお聴きいただきます。
さらに勇壮な二人立ちの長唄舞踊と、地歌の名曲をお楽しみいただき、さいごは典雅な舞踊で締めくくります。
出演者は次代を担う新進気鋭の若手から、花形実力派まで、魅力的な顔ぶれが揃いました。
それぞれの熱意あふれる舞台にどうぞご期待ください。

地歌舞 鐘ヶ岬

歌舞伎舞踊『京鹿子娘道成寺』を元にした作品。鐘への恨みを述べたあとに、娘の色香を舞い、そして廊づくしを手毬唄で見せます。女の業や性のエッセンスを綴った地歌舞です。山村若瑞は、山村友五郎門下。平成二十五年度なにわ芸術祭新人奨励賞を受賞した注目の新進舞踊家です。地元奈良と大阪を拠点に活動しています。

筑前琵琶 伽羅の兜

筑前琵琶奏者の川村旭芳は、故・柴田旭堂に師事。神戸市在住。古典の琵琶曲を継承しながら、新作の創作にも取り組んでいます。また、他分野との共演にも力を注ぎ、和楽器ユニット「おとぎ」の代表もつとめています。大坂夏の陣で散った若き武将、木村重成。妻との別れと、最期の戦いに挑む様子を描いた『伽羅の兜』（作詞 葛生桂雨 / 作曲 二世橘旭翁）を語ります。

箏 鳥のよう

沢井忠夫作曲（昭和六十年）。鳥のように空を飛べたらという思いが込められた、美しく技巧が映える楽曲です。山路みほは東京藝術大学音楽学部卒業。文化庁芸術インターンシップ国内研修員に合格し、沢井一恵に師事。長谷校校記念くまもと全国邦楽コンクール最優秀賞をはじめ受賞歴多数。平成二十四年度には文化庁より文化交流使に指名され、海外での演奏経験も豊富です。岡山県倉敷市在住。

長唄舞踊 連獅子

能『石橋』を元にした舞踊で、親獅子が仔獅子を谷底へ落とす仔落としと、親子獅子の勇壮な舞が見どころで、素踊りでお楽しみいただきます。尾上菊見匠・尾上菊見希は、尾上菊見に師事し、それぞれ自身の会の主宰や、門下の指導、日本舞踊の普及に努めています。二人立ちでの公演も多く、姉妹のように力を合わせてきました。二人の息のあった舞をお楽しみください。

地歌 末の契

頼るところもなく揺れる遊女の心を、波間に漂う小舟にたとえ、末長く続く契りを願う気持ちを歌います。竹山順子は故・佐々川静枝、故・矢木敬二に師事し、九州系箏曲・地歌三絃の演奏家として活躍。平成二十三年年度文化庁芸術祭新人賞を受賞しました。國見政之輔は琴古流尺八を川瀬順輔・川瀬庸輔に師事。自主公演のほか、歌舞伎黒御簾音楽尺八方もつとめます。また、各地の虚無僧音楽の研究にも力を入れています。

長唄舞踊 君が代松竹梅

藤間冠花は、故・藤間志冠に入門。現在は、藤間藤太郎に師事しています。大阪市在住。平成十一年には大阪文化祭賞奨励賞を受賞した、関西の花形舞踊家の一人です。『君が代松竹梅』は、松は高砂や三保の浦、竹という言葉は直接でてきませんが、歌詞の中で雪の竹林を想起させます。そのあとは梅づくしと、様々な情景を描き、最後はおめでたい言葉の数々で舞いおさめます。

予約開始

4月11日(火) 午前10時～

(電話) 国立劇場チケットセンター [午前10時～午後6時]

0570(07)9900

03(3230)3000 [一部IP電話等]

(インターネット) <http://ticket.ntj.jac.go.jp/> (パソコン)

<http://ticket.ntj.jac.go.jp/m> (スマートフォン)

入場料金

4,300円 学生 3,000円 ※障害者の方は2割引です。

窓口販売開始

4月12日(水) チケット売場 [午前10時～午後6時]

※窓口販売用は別枠でのお取り置きはございません。
※車椅子用スペースがございます。ご予約時にお問い合わせください。

| | |
|----------------------|---|
| プレイガイド 4月11日(火)より | チケットぴあ 0570(02)9999 [Pコード:457-388] [パソコン・携帯] http://pia.jp/ ローソンチケット 0570(000)407 [Lコード:57931] |
|----------------------|---|



国立文楽劇場
〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号
06(6212)2531(代表) <http://www.ntj.jac.go.jp/>
地下鉄・近鉄(日本橋)駅下車7号出口より徒歩約1分
※駐車場がございますのでお車でのご来場はご遠慮ください。

文化力
POWER OF CULTURE